

第 6 4 回技能五輪全国大会「車体塗装」職種 競技課題

以下の競技課題について、安全作業に努め、競技課題および実施要領に従い各競技課題を時間内で完成させなさい。

課題 1 実車マスキング【競技時間：60 分】

各競技者は、作業指示書 A のとおり指定された資材を使用し、マスキングエリアにある車両についてマスキング（養生）を行いなさい。

各競技者のマスキングエリアの清掃・整理整頓をもって競技終了とする。

《課題別注意事項》

- ・各競技者は、競技委員に指示された車両（1 人 1 台）で競技を開始すること。
- ・競技終了後、20 分間で審査および競技者入替えのための準備（マスキング剥がし等）を競技委員および競技補佐員が行う。
- ・使用する資材は、マスキングエリアの共有エリアに配置する。

課題 2 キズのみがき除去【競技時間：30 分】

各競技者は、支給する鋼板部品のキズをみがき作業により除去し仕上げなさい。支給したパネルのゴミ・ブツについては不問とする。

なお、キズ処理部の塗装肌が周辺部位（パネル全体）の塗装肌と比較して大きな凹凸の差、段差がないように仕上げること。

各競技者の作業台含む競技エリアの清掃・整理整頓をもって競技終了とする。

《課題別注意事項》

- ・支給パネルの確認（キズや曲がり等）を競技開始と同時に行いなさい。原則として、競技途中におけるこれらの申請は受け付けない。
- ・キズ研磨時における空研ぎ・水研ぎの選択は自由とする。

課題 3 2 コートメタリック調色【競技時間：50 分】

各競技者は、調色配合割合データに基づき支給する原色塗料（7 原色）を使用し計量調色後、課題色である調色用見本塗板（10 cm×20 cm）と同色となるよう調色（色合わせ）を行い、提出用塗板に塗装し指定の場所へ提出しなさい。

各競技者の作業台およびスプレーガンの洗浄等を含む競技エリアの清掃・整理整頓をもって競技終了とする。

《課題別注意事項》

- ・支給資材（提出用塗板）の確認（キズや曲がり等）を競技開始と同時に行いなさい。原則として、競技途中におけるこれらの申請は受け付けない。
- ・調色用見本塗板および提出用塗板には上・下があることから両塗板を揃えること。
- ・原色塗料については、競技開始前に計量カップで支給（各原色塗料 300g または 100g）するが、それ以上の補充は行わない。原色塗料以外に不足した資材等につい

ては、共有エリアにて補充すること。また、塗料計量秤は調色エリアの各競技者の作業台に配置し、塗料調色および塗料調合等はエリアにて行いなさい。

- ・競技課題に係わるすべての塗装作業およびスプレーガンの洗浄については、バップルブース内で行うこと。
- ・調色用テストピースのクリヤコートにおける硬化剤の調合は自由とするが、提出用塗板のクリヤコートは硬化剤を調合し塗装すること。提出用塗板の乾燥は競技時間に含まない。
- ・提出用塗板の塗装肌については、調色用見本塗板（10 cm×20 cm）と同様の塗装肌とすること。
- ・調色用テストピースの乾燥は調色エリアの指定の乾燥機にて行うこと。
- ・塗装後の提出用塗板の乾燥については、競技終了後、競技委員が調色エリアの乾燥機にて塗装技術マニュアルに基づき実施する。

課題4 3コートパール調色【競技時間：60分】

各競技者は、支給するカラーベース塗料およびパールベース塗料を使用し課題色である調色用見本塗板（10 cm×20 cm）と同色となるよう調色（色合わせ）を行い、提出用塗板に塗装し指定の場所へ提出しなさい。

カラーベースについては、調色配合割合データに基づき、支給する原色塗料（5原色）を計量調色したのちに実施すること。パールベースについては、塗料調合割合表に基づき、支給する計量調色済み塗料を調合し実施すること。

各競技者の作業台およびスプレーガンの洗浄等を含む競技エリアの清掃・整理整頓をもって競技終了とする。

《課題別注意事項》

- ・支給資材（提出用塗板）の確認（キズや曲がり等）を競技開始と同時に行いなさい。原則として、競技途中におけるこれらの申請は受け付けない。
- ・調色用見本塗板および提出用塗板には上・下があることから両塗板を揃えること。
- ・原色塗料については、競技開始前に計量カップで支給（カラーベース：各原色塗料 300 g または 150 g、パールベース：計量調色済み塗料 200g）するが、それ以上の補充は行わない。原色塗料以外に不足した資材等については、共有エリアにて補充すること。また、塗料計量秤は調色エリアの各競技者の作業台に配置し、塗料調色および塗料調合等は調色エリアにて行いなさい。
- ・競技課題に係わるすべての塗装作業およびスプレーガンの洗浄については、バップルブース内で行うこと。
- ・調色用テストピースのクリヤコートにおける硬化剤の調合は自由とするが、提出用塗板のクリヤコートは硬化剤を調合し塗装すること。提出用塗板の乾燥は競技時間に含まない。
- ・提出用塗板の塗装肌については、調色用見本塗板（10 cm×20 cm）と同様の塗装肌とすること。
- ・調色用テストピースの乾燥は調色エリアの指定の乾燥機にて行うこと。
- ・塗装後の提出用塗板の乾燥については、競技終了後、競技委員が調色エリアの乾燥

機にて塗装技術マニュアルに基づき実施する。

課題5 鋼板部品のブロックぼかし塗装【競技時間：60分】

各競技者は、下記に示すパネル設定状況から競技を行いなさい。

鋼板部品（電着塗装済みパネル：フロントパネル、上塗り塗装済みパネル：リヤパネル）のフロントパネルを取替えパネル、リヤパネルを既存のパネルと想定し、フロントパネルへのベースコート塗装から色違いがわからぬようにリヤパネルの後端部200 mm内側の範囲内でベースコートのぼかし塗装を行った後、フロントパネルおよびリヤパネルへクリヤコートのブロック塗装を行いなさい。

フロントパネルについては、アウタ面を足付け、プライマーサフェーサー塗装（ウェットオンウェット仕様）後、ベースコート塗装すること。

クリヤコートの塗装肌については、展示見本パネルと同様の塗装肌とすること。

塗装した鋼板部品は塗装ブース内で作業は終了とし、各競技者の作業台およびスプレーガンの洗浄等を含む競技エリアの清掃・整理整頓をもって競技終了とする。

《課題別注意事項》

- ・支給資材（鋼板部品）の確認（キズや曲がり等）を競技開始と同時にに行いなさい。
原則として、競技途中におけるこれらの申請は受け付けない。
- ・ベースコート塗料については、競技開始前に計量カップで必要量（500 g：調色済み）を支給するが、それ以上の補充は行わない。
- ・ベースコート以外の塗料類（プライマーサフェーサー・クリヤ・硬化剤・希釈剤）およびその他の副資材等は共有エリアに配置する。また、塗料計量秤は各競技者の競技エリアに配置し、塗料調合等は各競技エリアにて行いなさい。
- ・鋼板部品の裏面およびパネル取付けスタンドへのマスキングは不要とする。
- ・競技課題に係わるすべての塗装作業およびスプレーガンの洗浄については、塗装ブース内にて行うこと。
- ・塗装後のパネル乾燥については、競技終了後、競技委員が塗装ブースにて塗装技術マニュアルに基づき実施する。
- ・残ったベースコート塗料（希釈前状態）については、計量するため廃棄しないこと。

課題6-1 鋼板部品の修正とブロック塗装Ⅰ【競技時間：50分】

各競技者は、作業指示書Bのとおり競技を行いなさい。

各競技者は、支給する鋼板部品（ED電着塗装状態）の指示された損傷部を形状修正し、鋼板部品についてはパネル全面にプライマーサフェーサー塗装を行いなさい。

なお、損傷部の塗膜剥離後（鋼板部品）、プライマーサフェーサーの足付け後（鋼板部品）の状態について確認作業（審査）を行うことから、競技者は競技委員に申し出る。また、各確認作業（審査）を受けた後の再作業は禁止する。

塗装した鋼板部品は塗装ブース内で作業は終了とし、各競技者の作業台およびスプレーガンの洗浄等を含む競技エリアの清掃・整理整頓をもって競技終了とする。

《課題別注意事項》

- ・鋼板部品の確認（作業指示書以外のキズや曲がり等）を競技開始と同時にに行いなさい。原則として、競技途中におけるこれらの申請は受け付けない。
- ・形状修正に伴うパテ使用の要否については各競技者が判断すること。
- ・使用する塗料類（パテ・プライマーサフューサー・硬化剤・希釈剤）およびその他の副資材等は共有エリアに配置する。また、塗料計量秤は各競技者の競技エリアに配置し、塗料調合等は各競技エリアにて行いなさい。
- ・パテを使用する場合の乾燥は、各競技者の競技エリアで行うこと。なお、塗装技術マニュアルに基づき実施すること。
- ・パテの研磨時における機械研ぎ・手研ぎ、空研ぎ・水研ぎの選択は自由とする。
- ・鋼板部品およびパネル取付けスタンドへのマスキングについては不要とする。
- ・競技課題に係わるすべての塗装作業およびスプレーガンの洗浄については、塗装ブース内で行うこと。
- ・塗装終了後の部品乾燥については、競技委員が塗装ブースにて塗装技術マニュアルに基づき実施する。

課題 6-2 鋼板部品の修正とブロック塗装Ⅱ【競技時間：60 分】

課題 6-1 「鋼板部品の修正とブロック塗装Ⅰ」からの継続競技。

各競技者は、プライマーサフューサーの研磨作業、ベースコートおよびクリヤコートのブロック塗装を行いなさい。クリヤコートの塗装肌については、展示見本パネルと同様の塗装肌とする。

なお、プライマーサフューサー研磨後の状態について確認作業（審査）を行うことから、競技者は競技委員に申し出ること。また、各確認作業（審査）を受けた後の再作業は禁止する。

塗装した鋼板部品は塗装ブース内で作業は終了し、各競技者の作業台およびスプレーガンの洗浄等を含む競技エリアの清掃・整理整頓をもって競技終了とする。

《課題別注意事項》

- ・プライマーサフューサーの研磨時における機械研ぎ・手研ぎ、空研ぎ・水研ぎの選択は自由とする。
- ・ベースコート塗料については、競技開始前に計量カップで各々の部品塗装必要量（500 g：調色済み）を支給するが、それ以上の補充は行わない。
- ・ベースコート以外の塗料類（クリヤ・硬化剤・希釈剤・ボカシ剤）およびその他の副資材等は共有エリアに配置する。また、塗料計量秤は各競技者の競技エリアに配置する。塗料調合等は各競技エリアにて行いなさい。
- ・鋼板部品およびパネル取付けスタンドへのマスキングについては不要とする。
- ・競技課題に係わるすべての塗装作業およびスプレーガンの洗浄については、塗装ブース内にて行うこと。
- ・塗装後のパネル乾燥については、競技終了後、競技委員が塗装ブースにて塗装技術マニュアルに基づき実施する。
- ・残ったベースコート塗料（希釈前状態）については、計量するため廃棄しないこと。

課題 7 樹脂部品の修正【競技時間：50 分】

各競技者は、作業指示書Cのとおり支給する樹脂部品にある2ヶ所の損傷のうち、損傷Aはパテ付け作業まで、損傷Bはパテ付け作業からパテ研磨作業までの形状修正を行いなさい。

なお、フェザーエッジ後の状態（損傷Aおよび損傷Bの2ヶ所）について確認作業（審査）を行うことから、競技者は、競技委員に申し出て確認作業を受けること。

また、各確認作業（審査）を受けた後の再作業は禁止する。

各競技者の作業台および競技エリアの清掃・整理整頓をもって競技終了とする。

《課題別注意事項》

- ・支給材料および支給された部品の確認（キズや曲がり等）を競技開始と同時にに行いなさい。原則として、競技途中におけるこれらの申請は受け付けない。
- ・研磨作業については、機械研ぎ・手研ぎ、空研ぎ・水研ぎの選択は自由とする。
 - ・競技課題に係わるすべての塗装作業およびスプレーガンの洗浄については、塗装ブース内にて行うこと。
- ・使用するパテおよびその他の副資材等は共有エリアに配置する。また、塗料計量秤については、各自の競技エリア内の作業台に設置し、塗料調合等の作業は各自の競技エリア内にて行うこと。

課題 8-1・8-2 装飾塗装 I・II【競技時間：60 分+60 分】

各競技者は、作業指示書D（課題8-1・8-2 共通）のとおり競技を行いなさい。

課題8-1、8-2にて塗装した競技用パネルは塗装ブース内にて作業は終了とし、各競技者の作業台およびスプレーガンの洗浄等を含む競技エリアの清掃・整理整頓をもって競技終了とする。

《課題別注意事項》

- ・支給資材の確認（キズや曲がり等）を競技開始と同時にに行いなさい。原則として、競技途中におけるこれらの申請は受け付けない。
- ・塗装用スタンドへのマスキングについては不要とする。
- ・ベースコート塗料については、競技開始前に計量カップで必要量（調色済み塗料：150 g）を支給するが、それ以上の補充は行わない。
- ・ベースコート塗料以外の塗料類（クリヤ・硬化剤・希釈剤）およびその他の副資材等は共有エリアに配置する。また、塗料計量秤は各競技者の競技エリアに配置し、塗料調合等は各競技エリアにて行いなさい。
- ・競技課題に係わるすべての塗装作業およびスプレーガン洗浄については、塗装ブース内にて行うこと。
- ・塗装終了後の部品乾燥については、競技委員が塗装ブースにて塗装技術マニュアルに基づき実施する。

以上